

ウルトラマンシリーズ

保 育 園 25年度2園、26年度1園を
新規開設 P2

議会モニター募集 P3

とただ議会 だより

主な議案・質疑	2
討論	5
常任委員会の審査から	6
一般質問	8
視察レポート	18
ほっとコーナー	20

平成24年
9月
定例会

8月30日～
9月26日

9月定例会は、8月30日から9月26日までの28日間の会期で開かれ、市長から提出された決算・議案など37件を審査し、一般会計決算と国民健康保険特別会計決

算の2件は賛成多数で、その他の案件は全会一致で認定・可決しました。新たに提出された請願2件は、いずれも継続審査となりました。



保育園

25年度2園、26年度1園を新規開設

主な議案の概要

【24年度補正予算】
歳入歳出それぞれ3億9330万円を追加するものです。

ゾーン30

市内4区域が、区域内の生活道路を最高速度時速30キロメートルに規制し、住民の安全性を確保するゾーン30の指定を受けたことによる詳細設計業務委託料約400万円。

質疑

Q 場所と整備時期は。
A 平成25年度に喜沢2丁目、中町1丁目の一部区域。26年度に新曽第一土地区画整

理事業地内の2区域。27年度に喜沢中町の一部区域。

保育園整備

3つの保育園の整備事業費補助金、約2億9300万円。

質疑

Q 3保育園の概要は。
A (1)平成25年4月、新曽中学校北側に、民間事業者が定員66名で開設予定(2)平成26年4月、新曽北小学校東南に、社会福祉法人むつみ会が母子生活支援施設と併設して定員50名で開設予定(3)平成25年秋に、きざわ保育園が、施設の老朽化及び耐

震上の問題から、現施設より東北方向に約200メートルにある土地を賃借し、現在と同様の定員90名の保育園を移転整備予定。

※ほかに、平成25年4月、新曽小玉に定員90名の保育園を開設予定。

新曽地域に2カ所と

いうことで、地域的な偏りが出てしまっているのではないかと。

A 平成16年度以降、整備してきた8園の民間保育園のうち、6園はJR東日本と連携しながら埼京線沿線の駅周辺に保育園を整備してきた。今後は新規住宅建設等の状況及び既存保

育園との位置関係も含め、地域バランスを考慮しながら民間事業者を誘致し、新規保育園の開設を図っていきたい。

【請負契約】

◎庁舎耐震改修等建築工事請負契約 外2件
本庁舎の耐震性向上を図るため、免震レトロフィット工法による耐震改修等工事、これに伴う電気設備工事及び機械設備工事の、3件の請負契約です。

請負契約の合計額は、消費税及び地方消費税を含め34億4千4百万円。工期は契約締結日の翌日から平成26年12月19日までです。



▲品川区総合庁舎免震工事現場

◎市民医療センター等施設整備建築工事請負契約 外2件

市民医療センター1改築工事、既存建物解体工事、介護老人保健施設増築工事、これに伴う電気設備工事及び機

械設備工事の、3件の請負契約です。

請負契約の合計額は、消費税及び地方消費税を含め30億2032万5千円。工期は契約締結日の翌日から平成28年3月15日までです。

戸田市議会議員定数 現状の26人を維持

議会改革特別委員長報告

議会では平成23年8月から議会改革特別委員会において「議員定数」「議員報酬」「政務調査費」について協議を重ね、その結果が9月26日の本会議で委員長報告されました。

議員定数については常任委員会の委員定数の観点からも協議した。1委員会6人から8人程度が望ましいという学説を基準として協議をし、戸田市議会においては、議案等の付託件数や委員会審査に要する時間、原則月1回以上、委員会を開催していることや、年間活動テーマを設定し、積極的に政策提言等を行っている点からも、1委員会は7人が望ましいとの結論に至った。この考えでいくと、議員定数は28人が望ましい数字となるが、議員定数をふやすこ

と非常に難しいことから、7人委員会2つ、6人委員会2つで、議員定数は現状維持の26人とする。

議員報酬については平成6年以降、一般議員は45万円が増減はないものの、期末手当については削減しており、報酬と期末手当を合計した一般議員1人当たりの額は、平成7年時と比べ、平成22年時では54万円削減してきた経過がある。委員会では、これらの経過や、45万円が高いかどうか等の観点から意見が出され、協議の結果、現状維持とする。

政務調査費について、戸田市議会では厳格な運用がなされており、なおかつ、今年度からはホームページで支出状況を公表していることもかんがみ、額は現状維持とする。

議会モニター募集

本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧いただき、意見や提言の提出などをしていただきます。

【応募資格】

18歳以上の市内在住・在勤・在学している方（公務員、各種議会議員、市の行政委員は除きます。）で、議会の仕組みとその運営、市政や地域社会の発展に関心のある方

【募集人数】15名以内

【任 期】平成25年1月1日から1年間 ※報酬なし(図書カード進呈)

【募集締切】平成24年11月22日(木)まで(必着)

【申し込み】

「応募票」に住所、氏名、年齢、性別、職業、応募理由、自己アピール等を記入して、議会事務局へ直接持参、郵送(〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1)、FAX(433-2212)、電子メール(gikaijimu@city.toda.saitama.jp)で応募してください。応募票は議会事務局で配布しています。ホームページ(http://www002.city.toda.saitama.jp/gikai/)からダウンロードもできます。

【選考方法】

戸田市議会モニター設置要綱に基づき、書類選考のうえ決定し、結果は応募者全員へ通知します。

【問い合わせ】

戸田市議会事務局
TEL048-441-1800 内線 524・543

※ 免震レトロフィット工法・・・既存建物の最下層や中間層に免震装置を組み込み、耐震性能に優れた建物を実現する工法。

平成23年度決算を認定



財政健全化判断比率はすべて

健全

※千円単位は切り捨て

		平成23年度	前年度比
一般会計	歳入 (1年間の収入)	449億4,385万円	0.7%増
	歳出 (1年間の支出)	432億6,287万円	0.3%増
特別会計	歳入	248億9,538万円	4.5%増
	歳出	239億7,624万円	3.8%増

(注) 特別会計は14会計の合計額です。

水道事業会計

収益的収入	25億6,787万円
収益的支出	22億2,155万円
資本的収入	2,461万円
資本的支出	10億2,800万円

財政の健全化判断比率の報告

健全化判断比率	23年度
実質赤字比率	(12.00)
連結実質赤字比率	(17.00)
実質公債費比率	4.9 (25.0)
将来負担比率	37.5 (350.0)

単位%

(注) ①()は早期健全化基準を示す。

②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」表示となります。

※健全化判断比率とは

自治体の財政状況を早期に把握し、破綻を防ぐことをねらいとして、制定されたものです。



平成23年度決算 監査報告

「すべての会計で健全財政を堅持」

鶴森 寿士代表監査委員



一般会計について、実質収支額は約15億8千万円の黒字となっている。歳入は前年度と比べて0.7%の増。歳入の根幹である市税については、市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税のすべてにおいて前年度と比べて増となっている。一方、歳出は、前年度比0.3%の減となっている。

特別会計については、実質収支額は約8億9千万円の黒字となっている。

水道事業会計については、収益的収支の純利益は、前年度と比べて約3700万円の増となっている。

増となっている。これは、大規模マンション開発に伴う負担金が増加したことによる。資本的収支については、約10億円の不足となっており、損益勘定留保資金や減債積立金などで補てんされている。

水道事業の経営指標でもある有収率は94.7%で、6年ぶりに減となっているものの、いまだ高い水準を維持している。

審査の結果、一般会計、特別会計及び水道事業会計は、いずれも健全財政が堅持されていることを確認した。

討論

今定例会では、決算2件に対して討論を行いました。

平成23年度

一般会計決算

反対 岡寄 郁子議員

市民生活を最優先に考え、市民生活を守れ

税金を払いたくても払えないほど税負担は重く、その市民生活の実態を十分考慮することなく、給与や預金など、直ちに生活に直結するものに対して差し押さえを行っている。改めて改善を求める。

第5次行政改革プランでは、「受益と負担の公正」「安定した財源の確保」などを理由に、下水道料金や学童保育料の改定などの方針が掲げられている。行政改革の実施に当たっては市民生活を最優先に考え、市民生活を守るという市政本来のあり方と逆行するようないことがあってはならない。

賛成

秋元 良夫議員

今まで以上に効率的で効果的な行政運営を

さらに、全額公費による議員の海外視察のあり方、特定の同和団体の開催する研修会への参加、公立保育園での保育士派遣、小中学校の学校校務員の業務委託の関係で反対する。

行政改革プランは、最少の経費で最大の効果を上げるためにも欠かせない取り組みである。今後とも財政運営に厳しさが増す一方で、各種行政需要が増大する現状においては、今まで以上に効率的で効果的な行政運営を図っていく必要がある。

市税に関しては、厳しい状況の中で公正を確保し、適正な課税を担保しつつ差し押さえ等の滞納処分を適正に

反対

花井 伸子議員

法に定められている減免をしっかりと行使せよ

平成23年度国保税率例の見直しが行われ、医療費分・支援助費分の税率見直し、低所得世帯へ7.5・2割軽減の適用、賦課限度額5万円の負担増、資産割・平等割を廃止し、全体で約2800万円負担増の改正となった。

結果として、滞納世帯は約2%減少したが、改正時、心配したとお

平成23年度国民健康保険特別会計決算

賛成 山崎 雅俊議員

税制改正により低所得者の滞納率は減少

平成23年度に実施した国保税の税制改正により、新たに約2600世帯が低所得者軽減対象となり、低所得者の滞納率は減少、平等割の廃止に加え資産割の廃止により、居住用資産を所有している年金受給者は所得に応じた負担だけとなった。

一方、平成23年度国保税の調定は、対前年度比99.3%を維持し、収納率は1.2%上昇、平成22年度までに比べ、納めやすい税制へと改められた。

国民健康保険財政は、適正に運営されており、本決算認定に賛成する。

※討論……提出された議案等の審議の最終段階で、賛成・反対の意見を述べることを討論と言います。

議会モニターからの提言

前号に続き、議会モニターから提出されました提言につきまして、戸田市議会の検討結果をお知らせいたします。

提言等の要旨	検討結果
<p>議長選出方法の見直し 「各会派の順送り人事で、数合わせ投票」で決まっているのではないかと。</p> <p>[提言内容]</p> <p>①立候補できる対象議員は議員経験「4期目」以上とする。</p> <p>②議長選挙を実施するに当たり、立候補者の議会運営方針や抱負、議会改革への見解などに対して、議員による「ポイント制(1点~3点)」を導入し、最高得点者を議長に選出する。</p>	<p>本市議会では、平成23年に引き続き、平成24年にも議長選挙において所信表明会を実施し、その結果、投票数が同数であったため、公職選挙法の規定に基づき、くじ引きにより、議長を選出いたしました。</p> <p>以上のように、議長になろうとする者が自発的に所信表明を行っており、議長は、「各会派の順送り人事で、数合わせ投票」で決まっているわけではありません。また、議長選挙に当たって、各議員は、所信表明の内容はもちろんのこと、立候補者の人格や経歴など総合的に判断して投票を行っており、所信表明の内容に限定したポイント制の導入はなじまないものと考えます。</p>

総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました。
議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。
その経過と結果は、9月26日の本会議で各委員長から報告がありました。
下記はその概要です。

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・総務部・財務部・
会計課・行政委員会事務局等

投資に対しては、受益者数や有効性を踏まえた対応を

【23年度決算】

歳出の企画費では、委員から、行政改革プランについて、学童保育料等市民の負担増につながるものは、利用者の意見を聞き、判断してほしいとの要望がありました。また、他の委員から、現在想定している公費負担、受益者負担の割合は、細分化すべきではないかと



▲庁舎耐震改修工事の対象となる市役所本庁舎

徴税費では、委員から、税務総務費について、コンビニエンスストアでの税証明交付等、受益者が少ないものに対し、過大な投資はしないという観点から、市域や有効性も踏まえ、慎重に運用してほしいとの要望がありました。消防費の防災費では、委員から、自主防災会以外の大型マンションの管理組合に標準資材のマニユアルを送付してはどうかとの意見が出され、執行部から、

今後研究し、地域防災計画も踏まえて考えたいとの説明がありました。
【庁舎耐震改修等建築工事請負契約について】
委員から、総合評価方式による入札では、応札

文教・建設

都市整備部
教育委員会

上部公園利用者からの

要望事項の検討を

【23年度決算】

街路事業費では、都市計画道路前谷馬場線整備事業の進捗状況について質疑があり、執行部から、用地買収が伴う事業であり、23年度末で用地取得率は15・3%であるとの答弁がありました。公園費では、荒川水循環センター上部公園について、利用者から要望の多い日陰の確保や自動販売機の設置を考えてはどうかとの質疑があり、執行部から、県と調整しながら、上部公園の本格整備に合わせ、考えていきたいとの答弁がありました。学校管理費では、校務員業務委託について、入札で業者を決める際には、校務員が安心して働けるよう、最低限の労働条件を保障する形で考えてもらいたいとの意見がありました。公民館費では、参加者の少ない講座について、



▶荒川水循環センター上部公園

利用を促すよう周知してほしいとの意見があり、執行部から、公民館だよりが目立つように載せるなど、周知していきたいとの答弁がありました。また、参加者の多いサマースクールに力を入れて取り組んでもらいたいとの意見があり、執行部から、人気の高いものをよりよくすれば来館者もふえるので、調整していきたいとの答弁がありました。

健康福祉

福祉部・子ども青少年福祉事務所
市民医療センター

障害者が働く喜びを感ずることができ、環境整備の足がかりに

【23年度決算】

高齢者福祉費では、視力が弱く、広報が読めなかったり、インターネットを利用できない高齢者にも理解できるように、高齢者福祉サービスを普及啓発するとともに、利用促進に努める必要がある。現在実施している民生委員による高齢者の見守り訪問において、高齢者福祉サービスの周知徹底を図るとともに、高齢者の実態把握に努めてもらいたいという意見がありました。児童福祉運営費では、

子ども家庭相談事業において、不登校やいじめの問題に関する相談に対して、経済面や家庭環境の面など、学校の問題とは異なる角度からアプローチ



▶カフェ「こぼろ」

チシ、関係機関と連携を図りながら、引き続き問題解決に取り組んでもらいたいという意見がありました。保健衛生総務費では、福祉保健センター内の「カフェこぼろ」は日曜日は休業であるが、日曜日にも営業することにより

相談者が訪れやすくなるのではないかとこの意見や、看板等を掲げPRすることにより、お客をふやし、利益を上げること、障害者が働く喜びを感ずることができ、環境整備に努めてもらいたい

市民生活

市民生活部
消防本部
上下水道部

コミュニティの醸成にも寄与する530運動の活性化を

【23年度決算】

文化振興費では、結婚式事業撤退後の文化会館の施設改修に関し、利用団体の意向も踏まえ、防音設備の整った練習場の整備等を検討しているとの説明があり、委員から、利用しやすい環境整備に努めてもらいたいとの要望が出されました。戸籍住民基本台帳費では、コンビニ交付の実績について質疑があり、執行部から、昨年度は、住民票329件、印鑑登録証明書131件、新たに交付対象となった税証明は7件でした。また、市内3カ所の自動交付機について、保守にかかるコストや、コンビニ交付の取り扱い事業者がふえることも勘案し、今後、時期を見計らって、コンビニ交付のみの対応に切り替える方向で検討していくとの答弁がありました。



▶530運動の様子

環境衛生費では、530運動の活性化について質疑が出され、執行部から、参加者数はおおむね横ばいで、高齢者が多いことから、今後、若い市民の参加を促していきたいとの答弁がありました。委員から、この運動はコミュニティ醸成にも効果があり、活性化に取り組んでもらいたいとの要望が出されました。



▶誰でも使える多目的トイレ

方などが安心して街に外出し行動範囲を拡大できるよう、公共施設等のバリアフリー情報を紹介するバリアフリー



議員 障がい者や高齢者、乳幼児をお連れの方

バリアフリー情報

マップで街を活性化せよ

「利用者との意見交換をしていく」

遠藤英樹議員

議員 障がい者や高齢者、乳幼児をお連れの方

ーマップについて充実させる考えは。

福祉部長 公共施設だけでなく、一般的に利用する機会の多い店舗や飲食店、病院などの情報についても掲載していくことが望ましいと考える。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では9月6日、7日、10日、11日の4日間にかけて、18人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



▲9月28日、戸田南小で実践的防災教育総合支援事業（文部科学省委嘱）による防災訓練が行われました。



議員 マップに広告を掲載するなどマップを紹介して企業を支援すること、民間企業のバリアフリー化が進むと考えるがどうか。

福祉部長 今後検討していく。

事業継続計画（BCP）

議員 災害発生後に行うべき市役所業務の優先順位や業務体制などをまとめた計画である事業継続計画について、地域防災計画でも策定を進めるとあるが、現状は。

総務部長 県のセミナーに職員を派遣し、非常時における職員の参集状況等の基礎情報を収集した段階にあるので、今後、庁内の説明会を開催し各部門で業務の優先順位の検討を始める。

とどろきたい

いじめ

現状と今後の対策は

「教育相談体制を充実する」



議員 いじめについて教育委員会の認識は。

教育部長 決して許すことのできない問題。いじめか否かの判断は、表面的、形式的でなく、いじめられた児童生徒の立場に立って対応すべきと考える。

議員 ネットいじめ等、いじめの多様化については。

教育部長 ネットいじめも小中学校からの報告がある。各学校で迅速に対処し、解消に向かっていく。

富岡節子議員

議員 いじめ対応等に悩み、先生も病気で休職するケースも多く出ているが、教育委員会としては、今後どのように考えているのか。

教育部長 報告に迅速に対応し、教育センターの相談機能を生かし、子供が相談しやすい体制の充実を図り、強化していく。また、その中で、教師が一人で悩むことのないよう、学校全体の問題として取り組んでいく。

市の水害対策は

議員 荒川決壊時の対策と、市民の命、財産を守る施策は。



議員 市内を流れる河川・水路は、市民の憩いの場として、桜の花見や散歩など、さまざまな面で親しまれているが、新曽南を流れる三面張水路には、新曽排水路という名称はないので、市民にとって親しみやすい名前をつけてもらいたい。

都市整備部長 平成17年に「荒川左岸排水路」を「さくら川」に命名した事例があるが、同様に、桜並木が地域の良好な景観形成に役立つので、地域に合った、親しみやすい名前を地元町会に伺うなどして決定したいと思う。

議員 この水路にかかるとる元給食センター北側の橋も名前がないが、

一緒に考えてみては。

都市整備部長 水路の命名と一緒に決定をしていきたい。

保育園・幼稚園等の交通安全教育は

議員 小中学生に対する安全教育に取り組んでいるが、未就学児の交通安全対策は。

市民生活部長 すべての幼稚園等で教職員、園児、保護者に対し交通安全教育を実施、注意喚起、啓発を行っている。

就職活動支援について

議員 中・高等学校卒業の就職活動支援は。

市民生活部長 市独自では、中・高等学校卒業後の特化した支援は行っていないが、今後、支援策を図る。

熊木照明 議員

新曽南を流れる三面張水路に名前をつけて

「親しみやすい名前を検討する」

新曽排水路



▶新曽排水路



▶京浜東北線の高架橋下

総務部長 荒川氾濫時の浸水深と避難所を全町会に対し5カ所ずつ東京電力の電柱に表示するとともに、民間企業や危険性のない市町村等と災害協定の締結などを推進していく。

議員 京浜東北線の下など、荒川堤防の強化を国に強く要望するよう、改めて要望する。



本田 哲 議員

税の延滞金を減免する 制度の創設を

「制度を設けることを検討したい」



議員 税の延滞金にかかる利息は年利14.6%と高い。そのため、本税よりも延滞金の方が上回る納税者が多い。事由により延滞金を減免する制度を創設し、対応すべきではないか。

徴収事務

財務部長 減免の規定を設けることを検討したい。

オリンピック通りの交通安全対策を

議員 オリンピック通りの本町4丁目交差点は、朝の通勤時間帯、戸田公園駅に向かう自転車と歩行者が交錯する危険な場所である。道路管理者の県と協議し交通安全対策を講じるべきではないか。

都市整備部長 県の主導で「交通安全対策ワークショップ」が行われ、本町4丁目交差点の交通安全対策として、歩行者用信号機設置の検討、戸田南小学



▲交通量の多い本町4丁目交差点

校の用地をセッティングして歩道幅を広げる等の意見が出され、今後、関係機関で協議することが予定されている。

惣右衛門公園サッカー場の夜間使用の再開を

議員 現在、戸田出身のプロサッカー選手が

活躍している状況が生まれている中、近隣住民の理解を十分に得ながら、夜間利用の再開に取り組みべきではないか。

市民生活部長 夜間使用が可能になれば、スポーツ行政としても大きな前進である。しかし、周辺住民に与える影響が大変大きい。慎重に、かつ綿密な調査、検討が必要と考える。

危機管理

荒川水循環センター・セシウム焼却灰の管理は「県に分散保管・防災計画を要望する」



議員 ① 荒川水循環センターには放射性セシウム汚泥焼却灰が4千トンを超えて保管されている。今後の管

中名生隆 議員

理計画は②下水道関係市と焼却灰分散保管管理計画の協議は③風水害等の防災計画が県の中にあるのか。

上下水道部長 ①今年度は年間1500トン

の灰を産業廃棄物として搬出して、残る焼却灰を濃度ごとに保管場所・方法の最適な計画を検討している②県とともに分散保管について最適な方法を検討していく③独自の風水害の防災計画・緊急連絡等、県と連携して協議していく。

生ごみ堆肥化について

議員 生ごみ堆肥化に



▶生ごみ堆肥化作業 (リサイクルプラワーセンター)

ついて、戸田市・蕨市・衛生センターの三者協議では、これ以上のセンターでの堆肥化は難しい。そのために、本市で堆肥化装置を工コに設置するよう進めていくべきであると思うが、どうか。

市民生活部長 エコス

に関しては、環境団体の活動スペースとして活用されており、意見を聞き、検討していく。

機児対策に責任を持つ。最低基準は守っていく。

その他の質問

Q. 福祉保健センター交流スペース活用を。 A. まず利用ルールづくりから進める。

Q. 一時保育の充実を。 A. 考えはあるが、当面は待機児解消が優先。

岡崎 郁子 議員

医療ケアが必要な人の居場所整備を

「26年度開所の施設で検討していく」



議員 ① 胃ろうなど医療ケアが必要なた人を受け入れる施設が少ない。26年度に福祉の杜に新設する施設での受け入れを図るべきでは②障がい者施設の今後の増設計画は。

つぶやき 一歩一歩、前進です

福祉部長 ①運営法人と相談し、さまざまなニーズに対応できるように検討する②今年策定中の障がい者計画で検討する。

福祉タクシー券の対象拡大を

議員 障害3級以下でも足が悪い人などに対象を広げては。

福祉部長 3級の皆さんの状況と適正な基準



▶戸田市立福祉作業所 もくせい園(川岸)

について研究したい。

子育て新システム市の責任果たせ

議員 民自公が国会で通した「子育て支援法」は、私立保育園の施設補助をなくし、保育の基準引き下げなど、大きな問題がある。保育水準を後退させず、市の責任を果たすべき。

こども青少年部長

これまでどおり認可保育園の整備を中心に、待

査・研究する。

少人数学級の拡大を

議員 少人数学級編成は、教員の目が行き届き、いじめ等、こども同士の人間関係の問題解決にも有効であるとの見解から、政府は小中学校全学年で少人数学級8カ年計画を打ち出したが、財政を理由に遅れている。行田市、蕨市などのように小中

孤立死対策

総合的な見守り・相談システムの強化を

「連携し網の目の体制を構築したい」

花井 伸子 議員



議員 孤立死が社会問題となっている。戸田でもこの間、ふえて

つぶやき 孤立死、いじめ、自殺問題……、心痛みます



▶ライフラインの確認で見守りを強めます

及び増設、ライフライン事業者との連携強化、「呼びかけリーフレット」の作成を求める。

福祉部長 部内各業務の連携を強化し、市民との協力で網の目の見守り体制を構築したい。包括支援センターの体制強化は、新規特別養護老人ホームへの協力を検討する。また、上下水道部や水道料金業務委託事業者との連携、東京電力との協定締結の話し合いを進めている。リーフレットの作成は、今後、先進地の事例も含めて調

学校全学年で計画的に市独自の少人数学級の実施を求める。

教育部長

市独自の少人数学級の実施は、教員・教室確保などの財政面で国や県の支援が必要であり厳しい。今後とも、国・県の動向を注視しつつ、少人数指導を充実させていく。



▶笹目川を望む(北戸田・池ノ尻橋)
都市整備部長 戸田市部会には、行政メンバー、市民メンバーを合わせ、31名が参加している。全庁、全市を

議員 市のこのプロジェクトに関する取り組みは、全庁、全市を挙げた体制となっているか。
議員 市のこのプロジェクトに関する取り組みは、全庁、全市を挙げた体制となっているか。



教育委員会

いじめをいじめと認知しているのはだれか

「教育委員会委員が認知している」

議員 市の行政改革プランの目的は「行政の無駄をなくし、徹底的なコスト削減を行い、質の高い行政サービスの実現」であるが、同プランの中で、ごみ有料化、各種使用料・手数料、学童保育料の見直し(値上げ)が計画されているが、撤回すべきではないか。
議員 本

議員 市の行政改革プランの目的は「行政の無駄をなくし、徹底的なコスト削減を行い、質の高い行政サービスの実現」であるが、同プランの中で、ごみ有料化、各種使用料・手数料、学童保育料の見直し(値上げ)が計画されているが、撤回すべきではないか。
議員 本



▲教育委員会室

笹目川

まるごと再生プロジェクトの概要は「まちづくりと」一体の取り組み



議員 「笹目川のまるごと再生プロジェクト」の概要について、本市の提案内容も含めて、わかりやすく説明いただきたい。

議員 「笹目川のまるごと再生プロジェクト」の概要について、本市の提案内容も含めて、わかりやすく説明いただきたい。

議員 市のこのプロジェクトに関する取り組みは、全庁、全市を挙げた体制となっているか。

議員 市のこのプロジェクトに関する取り組みは、全庁、全市を挙げた体制となっているか。

召田厚 議員



議員 市のこのプロジェクトに関する取り組みは、全庁、全市を挙げた体制となっているか。

議員 市のこのプロジェクトに関する取り組みは、全庁、全市を挙げた体制となっているか。

議員 市のこのプロジェクトに関する取り組みは、全庁、全市を挙げた体制となっているか。

議員 市のこのプロジェクトに関する取り組みは、全庁、全市を挙げた体制となっているか。

文化行政

専門的知識を持った人材の育成が必要では「積極的な人材育成に努めたい」

山崎雅俊 議員



議員 文芸文化は幅広い分野であり、専門的知識を持った人材の確保や養成が必要では。

議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。
議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。

議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。

議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。

議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。

議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。

議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。



▶この先、自転車はどこを通ったらいいの？(彩湖・道満グリーンパーク)

議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。

議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。

議員 結婚式事業からの撤退が予定されている戸田市文化会館5階の改修について具体的な計画があるのか。

一般質問

行革プラン

手数料・使用料の値上げ計画は撤回を

「3年に1回適正化を図っていく」



議員 本

議員 本

議員 本

▲中町多目的広場の防球ネット



▲中町多目的広場の防球ネット



細井 幸雄 議員

買収ではなく敷地後退を 求める根拠は

「ルールと責務を定めた協定による」



議員 新
曾中央地
区まちづ
くり協定
では「生

活道路」の幅員を4mと定めているが、実質幅員5.5mを確保するため、差し引き1.5mを両側の地権者が提供し、植栽が義務化される。片や「地区補助幹線道路」は拡幅分を市が買収する。不公平であり、私権の制限

は財産権侵害の疑いもある。後退分の買収か、後退等の制限を撤回すべきだ。

都市整備部長 幅員4mの生活道路沿いの敷地は、事業に伴う買収がないことから、その沿道家屋においては、延焼防止や倒壊による道路閉塞防止を目的に壁面後退を行っていた

だくものです。いたずらに制限をかけているとは理解していない。

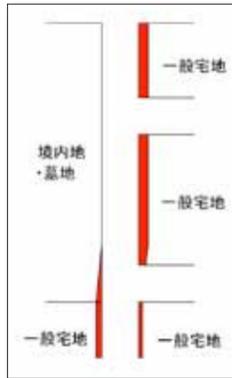
議員 境内地・墓地に隣接した道路の拡幅は、ほぼ一方的に一般宅地に後退を求め、境内地・墓地を聖域化している。その最たるは一般宅地と墓地を挟んだクランク状道路の連なった角地の隅切りを、一般宅地には求め、墓地側には求めている

いことだ。時代錯誤を感じる。何のための隅切りか。協働の理念、公平の原則にも反する。

都市整備部長 本地区の景観面や街並みに形成すべき要素として、協議会の意見もいただきながら地域の風致建造物である寺や墓地を避けて計画を策定した。応分の負担、公平の原則に反しないと考

議員 地区計画がこの先、円滑に推移するとは到底思えない。見直しを望む。

境内地・墓地聖域化の例
(寺側敷地のほとんどを避け、一般宅地側を拡幅)



健康長寿

高齢者が地域で元気に 暮らせる福祉支援策を

「元気な高齢者のための事業は重要」



議員 (1)
外出や住
民間交流
で、孤立
を防ぐた
めの支援が必要である。
①登録した団体が、

健康増進となる活動に参加すると、1回1ポイントがもらえ、貯めたポイントは換金できる。団体の親睦活動を支援する「シルバーポイント」制度の創設は

手塚 静枝 議員

②市のプール等の公共施設が無料で利用できる「ゴールドチケット」の発行は②ボランティアの見守り協力員による「高齢者地域見守り活動」体制の検討は③地域包括支援センターの名称を「高齢者あしんセンター」に変更しては。



▲リズム体操 (戸田市社会福祉協議会上前支部)

考える。①②については、情報収集し、検証していく②民生委員による見守り訪問を実施している。その結果を踏まえて今後の検討課題とする③今年度中に「介護支援ボランティア活動意識調査」を実施し、高齢者の意見を聞いていく。

救急医療の機能強化を
議員 (1)佐賀県では、全救急車に「iPad」を配備させた。救急医療現場の「見える化」をしたことにより、搬送時間の短縮などの効果が出ている。埼玉県と本市では導入について検討しているのか②「救急搬送トリアージ」についての見解は。

三浦 芳一 議員

市民向けいじめ撲滅へ 市長の決意・宣言を

「戸田市広報で緊急メッセージ発信」



議員 不
登校生徒
一人ひと
りへの的
確な指導
支援をより一層お願い
したい。いじめは未然
防止が大事。ゆえに早
期発見、早期対策が重
要になるが、戸田市ら
しい特徴的な仕組みづ

いじめめる側が100%悪い。許さないぞー

教育行政

鈴木 麗子 議員

学童保育

指導員の確保と 研修等の充実を

「安心保育のため急な欠員にも対処」



議員 学
童保育室
は家庭に
次ぐ生活
の場であ
り、保育室の運営のた
めは非常勤とパート

の指導員だが、一部保育室で指導員間の共同意識の欠如が見られる。また、保護者や指導員・担当間のトラブル対策など、公平公正な対応に努めてほし

い。本市指導員の経験は1年未満が30%と多く、勤務経験年数も全国平均より短い。雇用際に際し研修期間を設け適正を図っては。欠勤での指導員不足の補充対策は。

子ども青少年部長 学童保育は、複数の指導員が協力し、業務マニュアルに沿って実施している。パート指導員へ

災害時の健康危機管理とバッククッキング
議員 災害時、体調を維持する視点で、要援護者には適正な栄養・食支援が重要である。が、対策や災害時、市内の給食施設等の活用

福祉部長 新防災計画は要援護者に配慮した食支援を図り、給食センター等も活用する。
総務部長 バッククッキングも非常に有効である。

組むことを、内外にわたり、その決意と宣言をするべきと考える。
教育部長 ①しっかりと検討して進めていく②子供たちの主体的な取り組みが各学校に広まっていくように指導する。
市長 ③多くの目で見守ることが大事。「いじめは絶対許さない」という緊急メッセージを広報戸田市で発信し、



いじめ防止指導 (喜沢中)
はどうか。バッククッキング調理法も紹介しては。緊急性の高いアレルギー患者支援では、専門活動団体と災害協定する自治体もある。
議員 ケースワーカーの増員を行い、一人ひとりに丁寧な対応と、自立に向けた支援の拡大や、ジェネリック医薬品などの活用で医療扶助の減額を図れ。
福祉部長 レセプト点検の強化で、重複診療や過剰診療への指導強化を図る。

バッククッキングとは
家庭版真空調理
ポリ袋を鍋にして。
電気ポットや電気炊飯器を加熱器にして。

その他の質問
Q. 熱中症対策にミストシャワーの導入を。
A. 各学校で検討する。



議員 堀 京線 運行 時間 延長、通勤 快速の夜

間の快速化に市長みずからJR大宮支社に要請に出向いていただいている。その際のJR側の回答は、職員の労働条件などを盾に後ろ向きの内容が多く、不快に思う。もっと利用者側に立つべきだ。運

神谷 雄三 議員

JRの回答は内向き。利用者側に立っていない

「利便性向上に粘り強く要望」

埼京線充実

行時間を延ばすと車両保守の時間が確保されないと言いが、車両基地には340両あり、34編成できる。回答に説得力がない。
市民生活部長 これまでの粘り強い要望で、朝8時台に各駅が一本とまるようになった。JRの回答はいざいざ、難しいとのことだが、利用者の利便性向上のため、今後も粘り強く要望していく。

議員 ①戸田公園駅交番前トイレは古くて狭い。戸田の顔との認識で改修すべきときである②北戸田駅西口の横断歩道は片側が書店入口となる。利用者の動線に沿った歩道に改めるべきではないか。
市民生活部長 ①トイレは25年が経過し、老朽化が進み、改修が必要と考える。本市の玄



北戸田駅西口の横断歩道

関口との点も考慮し検討していく。

都市整備部長 ②区画整理事業が進み、交差点付近に更地が確保された。安全な誘導が可能か、工夫していく。

その他の質問

Q: 防災計画に『高齢者・障害者世帯に家具転倒防止器具の給付及び設置を推進する』とあるが、担当は、この予算を財政担当に要求した実績はあるか。
A: 実績はない。

行政効率化

放置自転車対策事業の収支改善を

「早急には難しいが検討する」

酒井 郁郎 議員



つぶやき 京都市の20倍のコストがかかっています。



議員 自 転車 撤去 コストは、 戸田市の 1台当り

り2万円強に対して例えば京都市では1千円弱。20倍以上の開きがある。委託料金の抑制など、収支改善に取り組んでどうか。

市民生活部長 早急なコスト削減は難しいが、検討していく。

非常時の給水について

議員 断水への備えを

た、一層の啓発活動を実施し呼びかけたい②大変有効な方法である。十分検討したい。

その他の質問

Q: SNSを広報や災害情報の発信手段として整備してはどううか。
A: 重要な手段とらえていく。今後の課題として研究したい。

※①SNS:フェイスブック、ツイッター、ユーチューブ等、ウェブサイトで利用者がコミュニケーションを広げていくサービス。
※②広聴:市民から広く意見を聴くこと。



市役所の貯水槽



一般質問

ネーミング

駅前中心に道路の愛称をつけては

「ふさわしい愛称名の提案に対応する」



議員 都 市を構成する要素として、道路は重

要である。都会人は、道路の上に費やす時間が、いかに多いかを思えば、都会生活と道路とは切り離すことができない。
駅前を中心に道路の愛称をつけてはどうか。

馬場栄一郎 議員

かの支援が必要な認知症高齢者の推計は、平成24年段階で305万人に達する。深刻な権利侵害事例の増加は、成年後見制度などの権利擁護施策の積極的な活用が求められ、判断能力が不十分な人の権利擁護の推進は、社会的な課題である。
市として、市民後見人の養成を行うべきではないか。



オリンピック通り

福祉部長 成年後見人の親族以外の者への選任は弁護士や司法書士等の専門職後見人であるが、抱える事実が多く、複雑多岐にわたる。
専門職後見人の負担軽減のためにも、市民後見人の必要性は十分認識している。
国の補助事業「市民後見推進事業」の次年度の活用に向けて検討していく。

市民後見人の養成を

議員 日常生活で何ら

白河市・美里町との議員交流で絆を深める

議員互助会では、7月2日、3日の2日間、友好都市である福島県白河市との議員交流会を戸田市で、また、7月27日には、姉妹都市である埼玉県美里町との交流会を美里町で、それぞれ開催しました。

白河市との意見交換会では、白河市議会から「福島第一原子力発電所の事故による放射能被曝に対する対策」について発表があり、戸田市議会からは「4常任委員会の平成23年の年間活動の成果」、及び「議会改革特別委員会、議会広報委員会」の活動について発表をし、活発な質疑応答

を交わしました。
翌日には、戸田市立学校給食センターとリサイクルフラワーセンターを視察し、学校給食センターでは、野菜の仕入れ方や残飯量などについて熱心な質問がありました。
また、美里町では、境内の中で四国八十八か所霊場巡りができる真東寺、国指定重要無形民俗文化財である猪俣百八燈塚、旧石器時代からの考古資料が展示してある遺跡の森館を視察しました。いずれも、古い伝統・歴史を大切に保存していることに感銘を受けました。
それぞれの意見交換会では、市町の現状、課題を熱心に語り合い、今後につながる、心温まる、大変有意義な交流会となりました。



キムチづくり体験教室(美里町)



白河市の議員と一緒に

委員会 視察レポート

閉会中に実施した視察について、8月30日の本会議冒頭に各委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

健康福祉

東京都台東区

災害時における 高齢者福祉施設のサービス 提供体制を明確化

台東区では、要介護状態のお年寄りが入通所している高齢者福祉施設において災害が発生した場合、発災時間や被害の規模・内容により、限られた人員で対応すること



7月6日 台東区社会福祉事業団にて

が想定されることから、施設内体制の構築、初動の訓練、日ごろの備えを具体的に把握できるように事業継続計画を策定しております。

【意見・感想】
地域防災計画との整合性を図り、応援体制や備蓄を考慮の上、本市においても策定が必要であると考えます。

文教・建設

千葉県松戸市
東京都足立区

空き家条例の施行は 適正管理を促す手段に

松戸市は、空き家等が管理不全な状態になることを防止するため、空き家等の適正管理に関する条例を施行しました。行政指導から行政処分になったことにより、空き家等の適正管理を強く促す有効な手段となっています。

足立区は、空き家に特化せず、実際に人が居住している家屋も対象とする、老朽家屋等の適正管理に関する条例を施行し、解体工事に係る費用の助成を行っていました。

【意見・感想】
本市においても、空き家に限らず、人が居住している家屋も含め、考えていかなければなら



7月26日 足立区役所にて

市民生活

茨城県取手市

条例の効果を検証する 仕組みづくりが重要

取手市では、議員提出議案として、取手市自転車安全利用条例を制定しており、自転車安全利用指導員による自転車利用者への指導助言のほか、交通安全教室も活発に実施しており、昨年中の自転車に関する事故件数は、条例を施行した平成19年と比較して、ほぼ半減しておりました。

【意見・感想】
条例制定による効果



7月5日 取手市役所にて

を、しっかりと検証していく仕組みづくりが重要と感じました。

交通対策

愛知県一宮市
愛知県豊橋市

地域住民主導による コミュニティバスの運行

一宮市では、運行経路や運行時間の検討、利用啓発の実施などを地域住民が担う生活交通バスを走らせており、地域の公共交通手段を、地域全体で守るという仕組みになっていました。利用状況は、当初の予想を大きく上回っているということです。

豊橋市では、地域公共交通活性化方策に基づき、地域住民が主体となって運行する地域生活バス・タクシートの導入や、路面電車を活用したイベントの実施など、さまざまな取り組みを進めており、公共交通の利用者数自体は目標を下回ったものの、市民の公共交通の満足度調査の結果は、



7月12日 豊橋市役所にて

改善傾向にありました。

【意見・感想】
本市のコミュニティバスの活性化においても、地域住民との協働を大いに検討する必要がありますと感じました。

総務

宮城県亶理町
宮城県登米市

コミュニティFMを 活用し、災害情報等を発信

亶理町では、東日本大震災後に亶理町臨時災害ラジオ「FMあおぞら」を開局しました。スタッフは町民ボランティアであることから、町民の求める情報を伝えることができる反面、スポンサーの確保等費用での課題もありました。

登米市では、震災前から、登米コミュニティFM「はつとエフエム」が民設民営で開局され、震災後「とめ災害エフエム」を開局し、放送業務を委託しています。「はつとエフエム」は、設立以来、黒字経営とのことでした。

【意見・感想】
災害情報の伝達手段と



8月2日 亶理町役場にて

して、コミュニティFMは有効ですが、赤字経営では問題です。戸田市で導入する場合は、民設民営による局に市が業務委託をする形が現実的と感じました。また、魅力ある番組のためには、スタッフ等についても課題があると感じました。

議会改革

三重県鳥羽市
三重県四日市市

ITの活用により、 議会の情報発信を強化

鳥羽市議会では、ツイッターやユーチューブ等々のITを活用し、議会の見える化を図っていました。効果としては、ホームページのアクセス数の増加や、若者や議会に関心の薄い方への有効性の高い、現段階では難しい、導入は時期尚早であると感じました。

四日市市では、通年議会を議会基本条例に明記し、全国の市議会

で初めて導入しました。効果としては、災害時や緊急の行政課題への対応、専決処分に係る緊急議会による審査、常任委員会の活性化などを挙げていました。



7月11日 鳥羽市役所にて

【意見・感想】
議会のIT化については、メリットが多いものの、課題もあるもので、今後も検討すべきであると感じました。また、通年議会については、現段階ではメリットを生かすことが難しく、導入は時期尚早であると感じました。

議会日誌

7月

- ◎ 2日～3日 福島県白河市議会との友好交流事業
- ◎ 4日 総務委員会
- ◎ 5日 市民生活委員会／同委員会視察
愛知県みよし市議会視察来庁
- ◎ 6日 健康福祉委員会視察
鹿児島県霧島市議会視察来庁
- ◎ 9日 総務委員会／愛知県尾張旭市議会視察来庁
- ◎ 10日 戸田競艇組合議会／健康福祉委員会
滋賀県近江八幡市議会視察来庁
- ◎ 11日 茨城県笠間市議会視察来庁
- ◎ 11日～12日 特別委員会視察（交通対策／議会改革）
- ◎ 13日 常任委員会（文教・建設／市民生活）
- ◎ 17日 議会広報委員会
- ◎ 18日 石川県七尾市議会視察来庁
- ◎ 23日 議会広報委員会／戸田市子ども議会
- ◎ 24日 新潟県糸魚川市議会視察来庁
- ◎ 25日 議会改革特別委員会／所沢市議会視察来庁
- ◎ 26日 文教・建設委員会視察
岐阜県羽島市議会視察来庁
- ◎ 27日 美里町議会との友好交流事業
- ◎ 31日 茨城県取手市議会視察来庁

8月

- ◎ 1日 市民生活委員会／戸田競艇組合議会運営委員会
- ◎ 2日 文教・建設委員会／京都府宇治市議会視察来庁
- ◎ 2日～3日 総務委員会視察
- ◎ 6日 蔵戸田衛生センター組合議会運営委員会
- ◎ 7日 議会改革特別委員会／滋賀県高島市議会視察来庁
- ◎ 8日 健康福祉委員会
- ◎ 9日 県南都市間問題協議会環境問題研究部会視察
千葉県富里市議会視察来庁
- ◎ 10日 市民生活委員会
- ◎ 22日 蔵戸田衛生センター組合議会
- ◎ 23日 交通対策特別委員会／議会運営委員会
全員協議会／常任委員会（総務、文教・建設、市民生活）
- ◎ 24日 健康福祉委員会
- ◎ 30日 本会議（議案説明）／議会運営委員会
市民生活委員会

9月

- ◎ 5日 本会議（議案質疑）／委員長会議
議会広報委員会
- ◎ 6日、7日、10日、11日 本会議（一般質問）
- ◎ 11日 議会運営委員会
- ◎ 12日～14日、18日 常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
- ◎ 19日 特別委員会（交通対策／議会改革）
議会運営委員会
- ◎ 26日 本会議（委員長報告、討論、採決）
- ◎ 27日 文教・建設委員会／戸田競艇組合議会運営委員会
- ◎ 29日～30日 第21回全国市町村交流レガッタ豊岡大会

「とだ議会だより」についても、2市から視察がありました。

題字を書ってくれた人

とだ



一文字ずつ心をこめて、ていねいに書きました。それが伝わる字が書けたと思います。

笹目東小学校 6年 古山 奈々子さん

全国市町村交流レガッタ豊岡大会 議員クルー、 残念ながら予選敗退



9月29日、30日の2日間、城崎温泉に近い兵庫県豊岡市の円山川漕艇場で、24市町村が参加して、第21回全国市町村交流レガッタ大会が開催されました。30日は戸田市防災訓練の日でありましたが、第4回大会から参加している戸田市議会は、ボート競技を通じて他市町村との交流を深めるため、“サクラソウ”の1クルーを議会代表として派遣しました。

台風による雨天に見舞われ、議員クルーは残念ながら予選・敗者復活戦ともに敗退となりましたが、“ボートのまち とだ”を、しっかりとアピールしてきました。

また、戸田市民クルーは3艇が参加し、そのうち壮年男子の“戸田レインボー☆イエロー”が決勝まで進出し、見事に6位入賞を飾りました。

定例会の予定

12月

11月27日	本会議	議案説明
12月3日	本会議	質疑
4日	本会議	一般質問
7日	委員会	常任委員会
10日	委員会	特別委員会
11日	委員会	特別委員会
17日	本会議	討論・採決

※日程は変更になる場合があります。
 議会事務局にお問い合わせください。
 議会事務局 048・441・1800
 (内線)23・52・45・43



長い残暑が終わり、菊の花の香り高い季節を迎えました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

最近

近お葬式や法事ばかりであったが、久しぶりに結婚披露宴に招かれ出席した。やはり結婚式は楽しく華やかでよかった。若いカップルのこれからの幸せを願う。暗い話題が多い中で、明るい話題は心がホットする。(B)

こ

の記事が読まれるのは11月。このときには、秋らしい陽気になっているだろうか？秋がないまま冬になっていないだろうか？若いときには余りなかったが、40歳になって、日本の四季を感じたくなる気持ちになるのは、なぜだろう。(T)

こ

の年齢で子育て真っ最中の我が夫婦。同年代の知人・友人は、子育て完了、または大きくなっていく人も多数。みんな口々に言うことは、「今が一番かわいいときだよ！」「大きくなるのはすぐだよ！」「ホント？早く大きくなって〜!!」(お)

従

来、本会議での議案に対する質疑は記事として触れていませんでした。しかし、議会だよりなのに伝えないのは、おかしい、と気付きました。(遅い！)今号から載せています。気付くのが遅くて「メンなせい」。(ウ)